

令和5年度 通学路対策箇所図

2318

歩道が狭く交通量が多いため、歩行者と車両の接触事故が懸念される。

<対策前>



<対策メニュー>

- ・安全指導を実施
- ・歩道整備など、総合的な整備の必要性の有無を含めた対応を検討

2322

車道・歩道とも狭く交通量が多いため、歩道への車両の乗り上げが懸念される。

<対策前>



<対策メニュー>

- ・防護柵の設置を検討

2327

舗装の段差による歩行者の転倒が懸念される。

<対策前>



<対策メニュー>

- ・安全指導を実施
- ・部分的に補修済みであり経過観察

2316

交差点（歩車分離式信号）での待ち時間が長く、横断者の青時間が短い。

<対策前>



<対策メニュー>

- ・安全指導を実施

2345

交通量が多く横断者がいても止まらないため、横断者が危険な状況である。

<対策前>



<対策メニュー>

- ・安全指導を実施
- ・継続して信号設置を要望

2319

地下道上屋の老朽化が進んでおり、通行する歩行者が不安である。

<対策前>



<対策メニュー>

- ・上屋の改修を検討

2343

道路のカーブにより生じる死角で、車両と歩行者が接触する危険性が高い。

<対策前>



<対策メニュー>

- ・安全指導を実施
- ・路面標示等の設置を検討

凡 例	
	小中学校
	対策箇所
	一般国道
	県道
	その他市道（幹線）
	鉄道

